

2013年5月21日

内閣総理大臣 安倍晋三 様
内閣府特命担当大臣 森 まさこ 様

東京都港区「シティハイツ竹芝」のシンドラ社製エレベーター戸開走行事故及び石川県金沢市のシンドラ社製エレベーター戸開走行事故について、事故原因の徹底的な調査と早期全面解明、それに基づく真の再発防止対策の早期実施を求める要請書

1 戸開走行事故の再発防止のために早期の事故原因調査を

平成18年6月3日、東京都港区の「シティハイツ竹芝」で、シンドラ社製エレベーターが戸開走行事故を起こし、市川大輔の命を理不尽に奪いました。事故後、事故調査や法を一部改正するなどの再発防止対策をしたにもかかわらず、平成24年10月31日、石川県金沢市で、シンドラ社製エレベーターが戸開走行事故を起こし、前多外志子の命を理不尽に奪いました。

国土交通省の事故調査や再発防止対策にどのような問題や不十分さがあったのでしょうか。この根本的な問題を解明することなくして、さらなる戸開走行事故の再発を防止することはできません。

国がそれを早急に調査して解明し、真の再発防止対策をとることが、エレベーター利用者の安全を守るために切実に求められています。

そのような趣旨で、平成24年11月5日、消費者安全調査委員会に、シティハイツ竹芝エレベーター事故について原因調査等の申出をしました。

しかし、申出から6か月以上経過しましたが、未だ調査結果が出ていません。

戸開走行事故の再発を防止するためには早期の事故原因調査がぜひとも必要です。

2 すべてのエレベーター利用者の安全のために

エレベーターは、私たちの生活の身近にある乗り物であり、子どもからお年寄りまで誰もが利用しています。エレベーター利用者である私たちは、生活のあらゆる場所でさまざまな製造者（メーカー）、所有者、管理者、保守管理業者のエレベーターを利用しています。だからこそ、製造者（メーカー）、所有者、管理者、保守管理業者がさまざまに違っても、エレベーター利用者の安全が平等に守られなければなりません。製造者（メーカー）、所有者、管理者、保守管理業者が責任を押し付けあうのではなく、エレベーター利用者の安全を平等に守るために、エレベーターを常時安全な状態に保持するために、製造者（メーカー）、所有者、管理者、保守管理業者が協同して責任を負うことが必要です。

エレベーター事故の事故原因を徹底的に調査し、迅速に事故原因を全面解明し、それに基づく真の再発防止対策をとることによって、二度とこのような悲惨な事故を繰り返さないようにしていただきたいのです。

3 なぜ事故原因の全面解明にこんなに時間がかかるのでしょうか。

シティハイツ竹芝エレベーター事故から7年、未だにこの事故は全面解明に至っていません。なぜ事故原因の全面解明にこんなに時間がかかるのでしょうか。そのこと自体が被害者遺族を苦しめ続けるとともに、真の再発防止対策をとることを妨げ、悲惨な事故を再発させています。

警察・検察の捜査で押収された証拠を調査することができないことが、事故原因の全面解明に時間がかかる原因となっています。

国土交通省社会資本整備審議会建築分科会建築物等事故・災害対策部会昇降機等事故対策委員会の「シティハイツ竹芝エレベーター事故調査報告書」は、最も重要な証拠である警察・検察の捜査関係資料を調査していないため、なぜ戸開走行事故を防ぐことができなかつたのか、その背景となった技術的要因や人的要因や組織的要因などを具体的に全面的に解明することはできていません。

また、国土交通省社会資本整備審議会昇降機等事故調査部会の「石川県内エレベーター戸開走行事故調査中間報告書」も、なぜ戸開走行事故を防ぐことができなかつたのか、その背景となった技術的要因や人的要因や組織的要因などを具体的に全面的に解明することはできていないのです。

事故原因の早期全面解明とそれに基づく真の再発防止対策の早期実施こそ、被害者遺族の切なる願いであり、悲惨な事故の再発を防ぎ、すべてのエレベーター利用者の安全を守る道です。

4 被害者遺族の心からの叫び・訴えと真摯に向き合っていただきたい。

事故調査に長い時間がかかってしまうことは、早急に安全対策をするための足かせになり、被害者遺族の苦しみを長引かせることにつながってしまいます。

真の事故原因を解明し、事故の教訓を安全に活かすことが、失われてしまった命を生かすことです。

失われた命を無駄にしないでいただきたいのです。

被害者遺族の心からの叫び・訴えと真摯に向き合っていただき、事故原因の徹底的な調査と早期全面解明、それに基づく真の再発防止対策の早期実施を重ねて要請する次第です。

シティハイツ竹芝エレベーター事故被害者遺族 市川 正子
石川県金沢市エレベーター事故被害者遺族 前多 智之